

2024年8月30日

株式会社レイメイ藤井

代表取締役社長 藤井 章生 様

公益財団法人 地方経済総合研究所

代表理事 笠原 慶久

## モニタリング検証報告書

### 1. 検証の対象および目的

本検証は、以下の期間における株式会社レイメイ藤井（以下、レイメイ藤井）が設定した KPI を対象に実施した。

また、本検証は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げる KPI の進捗を確認することを目的としている。なお、評価書は国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り 2023 年 3 月 31 日に発行した。

#### 【検証期間】

2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

### 2. 検証の方法

評価書に掲げた KPI について、担当者へのヒアリングを基に、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜疎明資料を受入れることで確認している。

### 3. 検証期間における特記事項

環境配慮	農業用サステナマルチシートの試験的運用を開始（露地栽培時の保護ビニールを紙製のシートで代用することでビニール廃棄の削減が期待出来る）
	2024 年新築した鹿児島支店敷地内に EV ステーションを設置 （熊本本店に続き、2 ヶ店目、2025 年は宮崎支店に設置予定）

#### 4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

重要課題	取組事項	KPI	実績	評価
社会・環境の多様性を俯瞰した事業の展開	環境配慮商品の販売、提案件数	再生紙、FSC 認証紙の販売数 前年比 +3%/年	再生紙 200% FSC 100%	S A
	脱プラスチック時代を意識した「紙製品」の提案件数	脱プラ商材提案件数 前年比 +5%/年	130%	S
	Kamikuru の自治体等への推進	年間販売台数 1 台以上	2 社へ提案中	B
	「リユース」の販売金額	前年比 +3%/年	前年比 107.5%	A
	CO2 排出量の削減への取組み	Scope1,2 の CO2 排出量 ▲3%/年	排出量の把握	-
	SDGs を意識した商品開発件数	環境対応素材の開発 2 アイテム (6sku) /年	3 アイテム/年	A
	海外への文房具贈呈などの CSR 活動実践回数	善意銀行への寄付 1 回/年	児童福祉施設への寄付	A
環境保全・循環型社会への貢献	DX 推進商材の提案件数	前年比 +5%/年	前年比+15%	S
	ドローン（産業機種）販売数	1 台/年	販売見込み先 1 件	B
	SDGs 推進企業との協業件数	1 件/年	1 件/年	A
	ステークホルダーとの対話回数	社内外における SDGs に関するアンケート実施数 2 回/年	アンケート未実施（各拠点のフェアで SDGs をアピール）	B
持続可能な地域社会の実現	支店業務の本社移管、業務効率化の推進	人事労務管理システムの導入 ネットバンキング本社集約 本店仕入業務の福岡本社移管	導入済み 検討中 検討中	B
	女性営業職比率の向上	前年比+1%	女性営業職比率の把握	-
	高齢者、障がい者雇用等の新たな雇用の創出	障がい者雇用比率 +0.2%/年	前年比 +0.35%	S
	研修制度充実による人材育成	階層別/目的別研修 3 回以上/年	計 5 回実施	A
	SDGs の啓発活動回数	10 件/年	7 件/年	A

#### 【評価基準】

S：目標を大きく上回る A：当初の期待通り B：目標を下回る C：目標を大きく下回る

以上